

表7 食品に関する受信事例の詳細(2007年、患者2名以上)

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの 症状	経緯
1	酒(焼酎)	4月	千葉県	2名	5歳	医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	顔面紅潮	店で注文したクリームソーダを食べたところ、アルコールが混ざっていた。上の子は、クリームソーダのアイスだけを食べ、ジュースは苦くて飲まなかったというが、下の子が残っていたジュースをコップ半分程度飲んだところ、症状が発現した。
2	酒(焼酎)	7月	奈良県	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心、元気がない、生あくび	圧力鍋で肉を煮込むのに、日本酒を切らせてしまったので焼酎200mlと水を加えて加熱した。アルコールをきんだ蒸気が大量に出始め、子どもが気持ちが悪くと言出した。母親もアルコールに強くないので、気持ちが悪く言っている。
3	ドリンク剤	8月	岡山県	2名	4歳	一般市民	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	なし	スーパーで配っていたドリンク剤の試供品を、子どもも大丈夫と言われたため、子どもも各で半分に分けて飲んだ。帰ってよく見ると15歳未満は使用しないよう書かれており、2名とも15歳未満なので心配になった。
4	健康食品	2月	東京都	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	子ども2名が子ども用サプリメントをいらずらして食べた。上の子は5歳程度食べたが、下の子が食べた量は不明である。
5	健康食品(ビタミン含有)	3月	東京都	2名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	ビタミン含有ゼリーの残りが少なくなっていた。子ども2名で食べたようだった。
6	化学調味料	2月	栃木県	5名	12歳	医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	しびれ	家族3名と知人夫婦合わせて5名で飲食店で焼きそばを食べた。化学調味料の味が強い焼きそばだった。食べて30分後に症状が発現した。
7	ペーキングパウダー	4月	埼玉県	2名	10歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	リングやバナナにヨーグルトをかけたものに、母親が粉糖と間違えてペーキングパウダーをかけて出し、知らずに父親と子どもが食べた。
8	重曹	8月	徳島県	4名	2歳6か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	片栗粉と間違えて大さじ1杯の重曹を使用して天ぷらを作り、食べた。特に酸味はしなかった。
9	重曹	10月	千葉県	2名	2歳8か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	誤って重曹を入れて作ったスコーンを、子どもと母親が食べた。
10	口腔清涼剤	10月	千葉県	2名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	子ども同士で遊んでいて、試供品の清涼剤のカプセルを1~2個ずつ食べた。
11	クレンプテロール(動物用医薬品)	2月	海外(メキシコ)	最大450名	不明	医療機関	仕事場	不慮	顔面、ふらつき、肉痛、顔面神経、右上肢麻痺	海外(メキシコ)の食卓で提供された牛肉を従業員が食べたところ、牛肉出荷前に投与されたクレンプテロールが残留しており、中毒を起こした。現地では450名が食べ、15名が帰国予定で、当院の患者は13名である。

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱年(小児、高齢者)の患者年齢とした

表8 JPIC 食品に化学物質が混入して発生した急性中毒受信件数(2003~2007年、患者2名以上)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	計
家庭用品	138	155	133	135	161	722
乾燥剤・鮮度保持剤	54	66	68	63	68	319
洗剤・洗浄剤	36	41	25	36	46	184
廃油処理剤	16	14	10	13	15	68
タバコ	5	4	5	4	7	25
電池	3	5	3	6	2	19
保冷剤	6	3	5	1	4	19
殺虫剤	1	2	4	2	4	13
芳香剤、消臭脱臭剤	2	1	0	5	3	11
体温計、温度計	0	5	1	3	1	10
化粧品	0	3	3	2	1	9
肥料	2	2	1	0	1	6
文具・美術工芸品	2	0	2	0	2	6
防虫剤	2	0	3	0	1	6
家庭用忌避剤、誘引剤	2	1	0	0	0	3
つや出し剤、ワックス	1	0	2	0	0	3
エッセンス油	0	0	0	0	1	1
おもちゃ	1	0	0	0	0	1
殺菌剤	0	1	0	0	0	1
その他の家庭用品	4	7	1	0	5	17
不明の家庭用品	1	0	0	0	0	1
工業用品	10	14	12	16	14	66
農業用品	3	7	10	7	11	38
医薬品(医療用、一般用)	3	2	2	1	6	14
計	154	178	157	159	192	840

表9-1-1 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) - 乾燥剤・鮮度保持剤等 -

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢	連絡者	発生場所	状況 (摂取理由)	症状	受信時までの経緯
1	乾燥剤 (シリカゲル)	1月	奈良県	4名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	お餅をつくる時にヨモギの乾燥剤を一箱に入れてしまった。出来上がった餅を家族で食べたところガリッと食ったので気づいた。
2	乾燥剤 (シリカゲル)	4月	千葉県	2名	66歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	ゴマの中の乾燥剤に気づかず、バナナ、ゴマ、アロエなどと一緒にジュースにかけて飲んだ。口の中に透明の粒々が残った。
3	乾燥剤 (シリカゲル)	4月	大分県	2名	9歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	子ども2名が韓国のりを食べた際にガリッと音がした。塩と思っていたが、よく見たら乾燥剤の袋が破れていた。
4	乾燥剤 (シリカゲル)	5月	大阪府	3名	2歳11か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	韓国海苔の中に入っていた乾燥剤の封が開いていて、中をバラバラになっているのに気づかず海苔を食べた。海苔の封を開けた時から乾燥剤の袋がハサミで切ったようにきれいに開いており、子どもがいたずらして開けたわけではない。
5	乾燥剤 (シリカゲル)	6月	東京都	2名	2歳6か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	飲んだお茶に乾燥剤が入っていた。
6	乾燥剤 (シリカゲル)	7月	栃木県	2名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	韓国のりを食べたところ、海苔がガリッと食った。乾燥剤の袋が破れ、海苔に付着していた。
7	乾燥剤 (シリカゲル)	10月	大阪府	5名	5歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	シチューを食べていたら、その中から、袋型の乾燥剤が出てきた。シチューは大人4名、子ども1名で食べたが、乾燥剤自体を口にしたのは大人1名のみであった。
8	乾燥剤 (シリカゲル)	11月	東京都	3名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	乾燥剤を袋ごと入れたみそ汁を飲んだ。
9	乾燥剤 (生石灰)	1月	神奈川県	4名	11歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐	間違えて乾燥剤が入った可能性の高いギョウザを家族4名で食べた。
10	乾燥剤 (生石灰)	2月	東京都	2名	72歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	高齢者が粉米炊飯と乾燥剤を間違えて、お米と一緒に炊飯して食べた。ご飯の色が茶色になってしまったため気づいた。
11	乾燥剤 (生石灰)	10月	宮城県	30名	0歳代	その他 (保育所)	保育所	不慮	なし	給食を調理中、だしの袋の中に入っている乾燥剤に気づかず、みそ汁を調理したため、みそ汁に乾燥剤が溶け出している。職員も食べたが、味の異常は感じなかった。
12	乾燥剤 (生石灰)	11月	愛知県	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	せんべいに入っていた乾燥剤の袋が少し破れていて、乾燥剤の粉がぜんぶ入ってしまった。
13	乾燥剤	5月	鹿児島県	2名	5歳	一般市民	車内	不慮	なし	幼稚園から子どもを運んで帰る車中、水筒に入れた麦茶を子ども運に飲ませた。全て飲み終わった後に水筒の中に乾燥剤が入っていたことに気づいた。
14	乾燥剤	9月	大阪府	4名	1歳代	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	海苔の袋を切ったときに乾燥剤も破れたが、それに気づかず海苔を食べた。
15	乾燥剤	9月	北海道	3名	9歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	手作りの食パンを食べた。その食パンに乾燥剤の粒が入っていて、食べた時にガリッと音がした。
16	乾燥剤	10月	京都府	2名	70歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	ポットを片付けする前に、乾燥剤を入れていた。再度ポットを使用し始める際、乾燥剤を抜くのを忘れて水を入れ、沸かして茶を飲んだ。

* 患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

表9-1-2 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) 一乾燥剤・鮮度保持剤等一

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	医療機関	発生場所	状況(摂取理由)	受信時までの症状	経緯
17	脱酸素剤	1月	山口県	不明	不明	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	うどんにお餅を入れた時に脱酸素剤が一箱に入った。食べているとビニールが出てきたので気づいた。
18	脱酸素剤	1月	大阪府	3名	10歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	きりたんぽの袋の中に脱酸素剤が入っているのに気づかず、一緒に調理した料理を食べた。最後にビニールに浮いてきたので気づいた。食パンにきなこをまぶして焼いた際に、脱酸素剤が入っていたのに気づかず食べた。やぶれて中味が出ていた。
19	脱酸素剤	1月	兵庫県	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	脱酸素剤が入ったままの小麦粉でパンを焼いた。焼いたパンを食べようとした際、パンの側面に袋があったことに気づいた。袋は破れていなかった。
20	脱酸素剤	1月	埼玉県	4名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	くすみの中に入っていた脱酸素剤に気づかず、そのままミキサーにかけて、くるみクッキーを作った。破片が出てきて気づいた。
21	脱酸素剤	2月	福島県	2名	7歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	ケーキミックスに入っていた脱酸素剤に気づかず、ミキサーで混ぜてケーキを作り食べた。
22	脱酸素剤	2月	東京都	2名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	ケーキミックスに入っていた脱酸素剤に気づかず、ミキサーで混ぜてケーキを作り食べた。
23	脱酸素剤	2月	愛知県	2名	5歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	お菓子の袋をハサミで切った際に脱酸素剤の袋も一緒に切ってしまった。お菓子の粉がかかっているのに気づかず少し食べた。
24	脱酸素剤	3月	熊本県	2名	73歳	医療機関	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	脱酸素剤をふりかけと思い、夫婦2名が食品にふりかけて食べた。
25	脱酸素剤	3月	青森県	2名	成人	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	豚汁を作る際に、味噌に入っていた脱酸素剤が混入したまま圧力鍋で煮た。食べている間に気づいたが、袋は破れていなかった。
26	脱酸素剤	3月	京都府	3名	18歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	作ったおでんの中から脱酸素剤が出てきた。消けた棒子はなく少し黒くなっている。
27	脱酸素剤	3月	東京都	2名	51歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	しびれ	ケーキを作る際、粉に脱酸素剤が入っていることに気づかず、ミキサーで混ぜて作った。チョコレート味で甘く、気づかなかった。
28	脱酸素剤	4月	埼玉県	2名	34歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	脱酸素剤が入っている事に気づかず、3食分のうどんと一緒に茹でて食べた。
29	脱酸素剤	5月	千葉県	2名	30歳代	医療機関	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	脱酸素剤が入っているのに気づかず、きな粉とともにミキサーにかけて水に溶いて飲んだ。
30	脱酸素剤	5月	東京都	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	くるみに入っていた脱酸素剤を、くるみにかけて食べた。
31	脱酸素剤	5月	京都府	2名	92歳	医療機関	高齢者施設	高齢者施設	不慮	なし	脱酸素剤を誤ってミキサーしたものを食べた。
32	脱酸素剤	5月	奈良県	2名	5歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	脱酸素剤を粉と一緒に焼いたパンを子ども2名が食べた。
33	脱酸素剤	6月	千葉県	2名	0歳11か月	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	なし	脱酸素剤が入っているのを気づかず、パンを焼き食べた。小麦粉に入っていたように、袋のままの形で出てきたが袋に穴があいていた。
34	脱酸素剤	6月	兵庫県	2名	58歳	一般市民	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	悪心	脱酸素剤をコンショウと間違えて皿に出して、夫婦2名が食品につけて食べた。
35	脱酸素剤	6月	愛知県	2名	67歳	医療機関	居住内(自宅)	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐	冷凍ピザに同封された脱酸素剤2袋をピザにかけ、電子レンジで加熱し食べたものを夫婦2名が食べた。

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

表9-1-3 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) 一乾燥剤・鮮度保持剤等一

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況(摂取理由)	受信時までの経緯
36	脱酸素剤	7月	大阪府	2名	2歳代	一般市民	居住内(自宅)	不慮	脱酸素剤をパンごと焼いて食べた。
37	脱酸素剤	7月	熊本県	不明	不明	その他(企業)	学校	不慮	学校給食センターで給食を作る際、パセリフレークに入っていた脱酸素剤を入れたまま調理した。その給食はすでに学校に配られ、生徒が昼食として食べているが、症状が発現したという報告はない。
38	脱酸素剤	7月	静岡県	2名	32歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	抹茶ミルクをミキサーで作ったとき、脱酸素剤の袋に気づかず、粉砕し、一緒に飲んでしまった。
39	脱酸素剤	8月	千葉県	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	パンをトーストするとき、脱酸素剤がパンについているのに気づかず、袋のまま一緒に焼いた。子どもたちに与えるときに袋を切ってしまう、パンに粉が少量付着した。
40	脱酸素剤	8月	秋田県	2名	15歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	ミキサーでジュースを作った際、脱酸素剤も入れて混ぜてしまった。
41	脱酸素剤	8月	広島県	2名	1歳2か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	パンを焼く際に誤って脱酸素剤も一緒にに入れて焼いてしまった。脱酸素剤の袋は破れており、中身がパンに付着した可能性がある。
42	脱酸素剤	8月	東京都	3名	7歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	味噌煮込みうどんに入っていた脱酸素剤をうどんと一緒に煮込んで3名が食べた。うどんの中に脱酸素剤の袋があり、袋の中に2/3程度残っている状態のものを発見した。
43	脱酸素剤	9月	愛知県	2名	72歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	きな粉と牛乳と一緒に脱酸素剤をミキサーにかけて飲んだ。
44	脱酸素剤	9月	大阪府	2名	1歳4か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	乾麺のうどんの袋に入っていた脱酸素剤に気づかず、うどんと一緒に煮込み、母子2名が食べた。袋は破損していない。
45	脱酸素剤	9月	岩手県	3名	5歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	脱酸素剤をパンと一緒に焼いて食べた。
46	脱酸素剤	10月	東京都	4名	64歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	きな粉の脱酸素剤に気づかず、きな粉と、ミルク、リンゴ、バナナ、ゴマと一緒にミキサーにかけて物を飲んだ。量は1名がコップ4杯、他の2名はコップ1杯ずつである。
47	脱酸素剤	10月	山梨県	8名	1歳0か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	うどんをゆがく際に誤って脱酸素剤も一緒にゆでた。それに気づかず、ゆであうどんを食べた。
48	脱酸素剤	10月	千葉県	2名	10歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	脱酸素剤が付いたままお餅を焼き、それが溶けて付着している物を食べた。中身は出ていない。
49	脱酸素剤	10月	神奈川県	3名	2歳代	一般市民	居住内(自宅)	不慮	脱酸素剤を一緒に煮込んだおでんを家族3名が食べた。
50	脱酸素剤	10月	東京都	95名	104歳	その他(高齢者施設)	高齢者施設	不慮	パンハンダーの材料と一緒に、ゴマの脱酸素剤をミキサーにかけて物を食べた。
51	脱酸素剤	11月	宮城県	2名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	パン焼器でパンを焼いた時、脱酸素剤の袋も一緒にに入れて焼いた。袋は破れていないが、少しパンに入った可能性がある。
52	脱酸素剤	11月	長野県	2名	10歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	あべかわ餅に入っていた脱酸素剤を、ゴマと間違えてふりかけて食べた。
53	脱酸素剤	11月	静岡県	3名	59歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	ピザと一緒に入っていた脱酸素剤を、食品と間違えてピザにかけて家族3名が食べた。

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱等(小児、高齢者)の患者年齢とした

表9-1-4 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) 一乾燥剤・鮮度保持剤等一

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	医療機関	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの 症状	経緯
54	脱酸素剤	11月	大分県	9名	高齢者	高齢者	医療機関	高齢者施設	不慮	なし	高齢者施設で出したおやつに脱酸素剤が混ざってしまい、9名が食べた。電話相談があった。
55	脱酸素剤	12月	宮崎県	4名	7歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	お餅に入っていた脱酸素剤に気づかず、鍋に入れて食べた。食べ終わった後、破れた袋が出てきた。
56	脱酸素剤	12月	神奈川県	3名	6歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	母親が脱酸素剤に気づかずほうとうと一緒に煮て、それを家族で食べた。
57	脱酸素剤	12月	京都府	3名	3歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	鍋に入るときに、うどんと一緒に脱酸素剤が入ってしまった。脱酸素剤の袋が破れて出た黒い粉を、うどんや野菜と一緒に食べた。
58	鮮度保持剤	4月	宮城県	2名	64歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	黒ゴマに鮮度保持剤が入っていたことに気づかず、バナナやリンゴと一緒にヨーグルトジュースにした。1名はどニールが混じっていることに気づいたので飲んだのは少量であるが、もう1名は180mL程度飲んだ。
59	鮮度保持剤	6月	石川県	3名	4歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	鮮度保持剤をふりかけと間違えて食べた。
60	鮮度保持剤	8月	大阪府	3名	4歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	お菓子里に鮮度保持剤が入っていたことに気づかず、レンジで温めた。袋は破れていないので中身は食べていない。
61	鮮度保持剤	8月	大阪府	3名	4歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	お菓子里に入っていた鮮度保持剤を、お菓子里と一緒に電子レンジで温めて食べた。
62	鮮度保持剤	9月	岡山県	14名	高齢者	その他(企業)		高齢者施設	不慮	なし	高齢者施設で鮮度保持剤に気づかず、牛乳とドーナツと共にミキサーにかけてペースト状にしたものを14名が食べた。
63	鮮度保持剤	10月	千葉県	2名	13歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	肉まんの底の紙に鮮度保持剤がついていたが、気づかずに蒸し器で蒸して食べた。白い粉が付いていることに気づき、確認すると袋が破れていたが、中身のほとんどは残っていた。
64	鮮度保持剤	11月	東京都	2名	1歳10か月	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	砂糖だと思っていた鮮度保持剤の袋を開けて、あんこドーナツにふりかけて食べた。
65	鮮度保持剤	12月	大阪府	2名	58歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	鮮度保持剤がかかったお菓子を食べた。開封時に一緒にハサミで切ったらしい。
66	鮮度保持剤	12月	福島県	2名	3歳	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	ドーナツに入っていた鮮度保持剤の袋が初めから破れていた。子どもたちが砂糖と思つて指につけて食べた。上の子どもはすぐにまづいといつて吐き出したが、下の子どもはなめて食べてしまった。
67	乾燥剤または鮮度保持剤	12月	埼玉県	2名	2歳3か月	一般市民		居住内(自宅)	不慮	なし	青汁を入れた際に、付属の袋も一緒に入れてミキサーにかけてジュースを作った。2名が1口飲んですぐに気づいた。
68	防霉剤	12月	大阪府	3名	成人	一般市民		居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐	エビを湯がいて食べたところ、薬品臭がして名はほとんど食べることが出来ず、子ども1名のみが食べた。翌日、ほとんど食べなかった1名が嘔吐したので、購入先に問い合わせたところ、防霉剤の影響ではないかと言われた。

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は最も若い患者(小児、高齢者)の患者年齢とした

表9-2-1 家庭用品が食品へ混入した受遺事例の詳細(2007年、患者2名以上) 一洗剤・洗淨剤—

事例No.	起因物質	発生日	発生日	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況(採取理由)	症状	経緯
1	塩素系漂白剤	1月	愛知県	2名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	塩素系漂白剤を調製したジュースを水洗いした後、ジュースを作った飲んだ。苦い味がしたので漂白剤が残っていた可能性がある。
2	塩素系漂白剤	1月	茨城県	3名	80歳代	医療機関	医療施設	不慮	嘔吐	入院患者が、2倍希釈した塩素系漂白剤を飲み物と間違えて飲んだ。
3	塩素系漂白剤	2月	茨城県	2名	成人	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛(1名)	塩素系漂白剤を使って漂白していた水筒を使用した。水筒の中の飲み物を飲んだところ、舌がひりひりした。
4	塩素系漂白剤	3月	東京都	2名	12歳	一般市民	屋内の公共スペース	不慮	口腔咽喉痛	スポーツチームの集まりで、食器を塩素系漂白剤につけていたのを気づかずに、飲んだり、口に入れてしまった。
5	塩素系漂白剤	6月	広島県	2名	9歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	塩素系漂白剤の希釈液をギョウザの差し水に使った。そのギョウザを子どもに食べさせた。
6	塩素系漂白剤	6月	宮崎県	2名	7歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	漂白していた水を子どもがお茶と間違えて飲んだ。
7	塩素系漂白剤	8月	東京都	2名	77歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	高齢者2名が、漂白剤の入った土瓶の水をお茶と間違えて飲んだ。味がおかしかったためすぐに吐き出したが、1口以下は飲んでしまった。漂白剤を2回に分けて土瓶に継ぎ足したため、希釈率は正確に分らない。
8	塩素系漂白剤	6月	埼玉県	2名	81歳	その他(高齢者施設)	高齢者施設	不慮	なし	高齢者2名が希釈した塩素系漂白剤を飲んだ。
9	塩素系漂白剤	6月	和歌山県	2名	69歳	医療機関	不明	不慮	なし	高齢者2名が、誤って漂白剤の希釈液を飲んだ。
10	塩素系漂白剤	7月	大阪府	2名	9歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	腹痛(1名)、口腔粘膜発赤(1名)	希釈した漂白剤を2名が1口飲んだ。すぐに気づいたので大量には飲んでいない。翌日、2名ともに症状が出た。
11	塩素系漂白剤	7月	東京都	3名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	漂白剤をスプレーしたのを忘れて500mLの水筒にお茶を入れ、子どもたちにも飲ませてしまった。
12	塩素系漂白剤	8月	北海道	2名	80歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	まな板に漂白剤を噴霧していたことを忘れ、そのまな板でトマトを切っていた。臭いがしたため、漂白していたことに気づいた。
13	塩素系漂白剤	8月	千葉県	2名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	子どもが水で薄めた漂白剤を少量飲んだ。台所でみかんを漂白剤につけていた中に、上の子どもがコップを落とすように、下の子どもが水をこぼして飲ませてしまった。
14	塩素系漂白剤	9月	京都府	3名	40歳	一般市民	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	嘔吐	塩素系漂白剤の希釈液が入った水を従業員が誤って出し、それを使用して作った水割り酒を3名が飲んだ。他にも飲んでいる可能性があるが、すでに帰宅しており、確認できていない。
15	塩素系漂白剤	9月	東京都	2名	34歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	前日の夜、塩素系漂白剤でまな板の漂白をしていた。本日の朝、まな板をゆすがずに食品を調理して食べた。
16	塩素系漂白剤	9月	大阪府	2名	34歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛、嘔吐	家族がペットボトルに塩素系漂白剤の希釈液を入れ、冷蔵庫に入れていたが、それを知らずに水と誤って、お茶に足して飲んだ。
17	塩素系漂白剤	11月	兵庫県	14名	高齢者	その他(高齢者施設)	高齢者施設	不慮	なし	高齢者施設で、塩素系漂白剤の希釈した液体を使って飲み物を作り、高齢者14名が飲んだ。
18	塩素系漂白剤	12月	三重県	3名	1歳11か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	塩素系漂白剤で漂白していたまな板で切った肉を、焼いて食べた。

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合と同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

表9-2-2 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) - 洗剤・洗浄剤 -

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢	連絡者	発生場所	状況(採取理由)	症状	経過
19	食器洗い用洗剤	1月	大阪府	2名	2歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	親戚の集まりで、食器洗い用洗剤で洗浄後、充分にすすいでいないコップでお茶を飲んだ。注いだ時に泡立ったが、お茶を注いだためと思い、そのまま使用した。
20	食器洗い用洗剤	1月	長野県	3名	成人	医療機関	医療施設	不慮	なし	厨房用の食器洗い用洗剤が混入したアルコールをミキサーに吹きかけ、そのミキサーでみそ汁と薄しきりを入れて使用した。普段、アルコールをミキサー使用前に除菌目的で吹きかけている。
21	食器洗い用洗剤	2月	東京都	2名	70歳代	医療機関	不明	不慮	口咽咽喉違和感	油と間違えて食器洗い用洗剤でゆめゆめ物を洗って食べた。味がおかしいとすぐに気づいたため、食べた量は少ない。食器洗い用洗剤は経営している店で使用していたものである。
22	食器洗い用洗剤	6月	高知県	2名	40歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	カレーを調理中、食器洗い用洗剤の泡が混入したものを食べた。
23	食器洗い用洗剤	6月	山口県	4名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	食器洗い用洗剤の希釈液に、フライパンを付け置きしている事に気づかず、フライパンを水から取り出し、4個を炒めて調理した。特に味などに違和感を感じることもなく食べた。
24	食器洗い用洗剤	8月	岐阜県	2名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	やかんに入っていたお茶を飲んだら、子どもが洗剤の味がすると言った。お茶を入れたときよりもより泡立ったような気がした。洗剤を洗ったすぐそばでやかんを冷やしていたので、注ぎ口のところが泡が少量、入った可能性がある。
25	食器洗い用洗剤	9月	京都府	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	消化器違和感	食器洗い用洗剤を使って洗った後、すすがずに置いておいた物に水を入れて飲んだ。
26	食器洗い用洗剤	9月	神奈川県	2名	成人	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	自宅でお茶を飲んだところ味がおかしいため、子どもにも少量飲んでもらって確認した。使用している食器洗い用洗剤が混入しているようだった。
27	食器洗い用洗剤	10月	岡山県	2名	80歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口咽咽喉痛み	認知症があり、油と間違えて食器洗い用洗剤を使い、炒め物を作った。家人はすぐに気づいたが、本人は少量食べた。
28	食器洗い用洗剤	11月	栃木県	38名	成人	医療機関	医療施設	不慮	なし	患者用の食器を用意する大きな炊飯器を食器洗い用洗剤で洗ったが、水洗いが不十分のままご飯を炊き、配膳した。
29	ポット洗浄剤	1月	岡山県	8名	成人	その他(公共施設)	屋内の公共スペース	不慮	なし	ポット洗浄剤を入れたままのお湯でお茶を飲んだ。
30	ポット洗浄剤	3月	埼玉県	2名	80歳代	その他(高齢者施設)	高齢者施設	不慮	なし	高齢者施設内で、洗浄剤が入ったポットのお湯でコーヒースプーンを入れて飲んだ。味がすすばいのですぐに気づいた。
31	ポット洗浄剤	3月	群馬県	10名	40歳	医療機関	医療施設	不慮	なし	医療施設の職員がポット洗浄剤が入っているのを知らずに希釈液200mlを飲んだ。特に味は感じなかった。
32	ポット洗浄剤	9月	大阪府	2名	71歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口咽咽喉違和感	ポット用洗浄剤を使用中のポットの湯でコーヒースプーンを作った。すばい味がしたので、1名は1口、もう1名はさかすか1杯程度しか飲んでいない。
33	ポット洗浄剤	9月	大阪府	2名	10歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	下痢	家人がポットを洗浄していることを知らずに、子どもがポットに電源を入れ、ラーメンを作った。
34	ポット洗浄剤	11月	大阪府	3名	11歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	ポット用洗浄剤で洗浄中のポットにコンセントを入れ、その湯でコーキングスプーンを作った。小さじ1杯飲んで、味がおかしいことに気づいた。
35	ポット洗浄剤	12月	鹿児島県	3名	70歳代	その他(高齢者施設)	高齢者施設	不慮	なし	ポット用洗浄剤を使用したポットのお湯で煎茶を作った。2口ぐらいい飲んで味が酸であることに気づいて、飲むのをやめた。

* 患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした。

表9-2-3 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) - 洗剤・洗淨剤 -

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの経緯
36	食器洗い機用洗剤	4月	神奈川県	2名	27歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	食器洗い機用洗剤が落着けず付着したコーヒーカップに、コーヒーを入れて飲んだ。
37	食器洗い機用洗剤	4月	神奈川県	2名	51歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	食器洗い機用洗剤が付いたコーヒーカップを使用した。機械を使用中に途中で止めた事を忘れており、飲んだ後にカップに洗剤が白く付いている事に気づいた。
38	食器洗い機用洗剤	5月	東京都	4名	1歳8か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	食器洗い機を使用中に給湯したためか、すぎ途中で水が止まっていたらしい。気づかず十分にすすがれていない食器を使用して食事をした。
39	食器洗い機用洗剤	7月	石川県	2名	19歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	食器洗い機に洗剤を入れて洗わずにいた皿を使って食べた。
40	食器洗い機用洗剤	8月	静岡県	2名	2歳代	一般市民	居住内(自宅)	不慮	食器洗い機にかけたお皿に薬剤がついていたことに気づかず食品を盛り食べた。
41	食器洗い機用洗剤	9月	三重県	2名	9歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	食器洗い機用洗剤がついたままの皿を洗わずに使用した。
42	クレンジー	7月	兵庫県	2名	80歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	お好み焼きを焼く際、生地がゆるいので皿の上に移し変えてあったクレンジーを小麦粉と間違えて生地に入れ、誤ってお好み焼きを食べた。
43	柔軟仕上げ剤	8月	東京都	4名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	かき氷を作ろうと台所に用意していたかき氷にかき氷に柔軟仕上げ剤が1、2滴かかった。それに気づかずにかき氷を作って食べた。臭いがして、変な味がするるので、食べるのをやめた。
44	重曹	9月	東京都	2名	1歳3か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	重曹を塩と誤認し、ゆでた落花生にまぶして食べた。
45	ハイブ用洗淨剤	12月	東京都	2名	14歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	ポット洗淨剤と間違えて、排水パイプクリナーを使用した。すすいだ後、そのまま湯を沸かして子どもにココアを飲ませた。母親はコーヒーとお茶を飲んだ。飲んだ時に違和感はなかった。
46	衣料用洗剤	12月	茨城県	4名	30歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	自宅で白菜をつけ、食べたところ味がおかしいと気づいた。衣類用洗剤が混ざった可能性がある。

* 患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

表9-3-1 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) - 廃油処理剤 -

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (摂取理由)	受信時までの 症状	経緯
1	廃油処理剤 (ヒマシ油系、固体)	3月	長野県	4名	15歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	なし	廃油処理剤を入れていたのを忘れて、油を足して再加熱して揚げ物をした。その揚げ物を食べた。
2	廃油処理剤 (ヒマシ油系、固体)	4月	千葉県	3名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	廃油処理剤を油に入れ固まらせたのを知らずに、その油を使用して揚げ餅を作り食べさせた。食べてから廃油処理剤を使用していたことに気づいた。
3	廃油処理剤 (ヒマシ油系、固体)	12月	北海道	8名	1歳0か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	廃油処理剤で固めた油だと気づかず、新たに油を加えて天ぷらを作りました。家族8名で食べた。
4	廃油処理剤	3月	北海道	3名	47歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	廃油処理剤を入れた油で、間違っってジャガイモを揚げて食べた。
5	廃油処理剤(固体)	5月	福岡県	3名	2歳代	医療機関	居住内(自宅)	不慮	なし	廃油処理剤が入った食用油を使用して作った卵焼きを食べた。電話相談のため、詳細は不明である。
6	廃油処理剤(固体)	5月	茨城県	4名	13歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	廃油処理剤を入れて固めた油を使って揚げ物を調理し食べた。味が悪かったため揚げ物は少量しか食べなかった。
7	廃油処理剤(固体)	6月	宮城県	2名	成人	医療機関	居住内(自宅)	不慮	なし	パン粉と間違っって廃油処理剤を使い衣をつけたものを油で揚げ、それをカツ丼にして食べた。
8	廃油処理剤(固体)	8月	岐阜県	5名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	廃油処理剤を入れて固まりかけていた食用油で調理した天ぷらを食べた。
9	廃油処理剤(固体)	10月	京都府	2名	14歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	天ぷらに油に廃油処理剤を入れたものを再び温め、それにカツを入れて揚げた。
10	廃油処理剤(界面活性剤系、液体)	1月	東京都	2名	80歳代	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み、 口腔咽喉違和感	チャーハンを作ったところ、ぬるぬるした感じがした。使った油を焼却すると廃油処理剤との記載があった。
11	廃油処理剤(界面活性剤系、液体)	5月	東京都	3名	18歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	食用油と間違っって廃油処理剤を使って揚げ物をした。苦味があったので、おかしいことに気づいた。
12	廃油処理剤(界面活性剤系、液体)	5月	東京都	2名	19歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	悪心	廃油処理剤で揚げ物をして食べた。味が変だったのですぐに気づいた。
13	廃油処理剤(界面活性剤系、液体)	10月	愛知県	2名	24歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	廃油処理剤を使用してさらさらになつた油を使い、作った料理を食べた。
14	廃油処理剤(液体)	4月	岡山県	5名	30歳代	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み、 口腔咽喉違和感	ハンバーグを焼く時に食用油と間違っって廃油処理剤を使い、焼いた物を食べた。
15	廃油処理剤(液体)	12月	宮城県	4名	2歳3か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	廃油処理剤が入った油3~4滴をひいて、ホットケーキを焼いて食べた。

*患者年齢は症状がある場合は最も重い患者、症状がない場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

表9-4-1 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) 一家庭用品その他一

事例 No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの症状	経緯
1	タバコ 紙巻きタバコ	7月	茨城県	2名	3歳	一般市民	居住内(その他)	不慮	なし	コップの内側の側面にタバコの灰のような黒いかたまりがこびりついていて、お茶を入れて飲んでいたら味が変化した。普段、吸殻を食器に入れることがある家庭のため、洗いきれなかった可能性が高い。
2	紙巻きタバコ	12月	東京都	4名	2歳代	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	スーパーで購入したシラコの中に吸殻が混入していたらしく、気づかずにお茶を入れて食べた。シラコの他に野菜や肉団子も入れた。野菜は切って入れており、肉団子も入れる際に、吸殻の大きさに気づかぬままに入れてしまった。最後に入れたシラコに吸殻が混入していた可能性が非常に高い。家族に喫煙者はいない。
3	タバコ (湯出液)	4月	茨城県	2名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	子どもがタバコの吸殻が1時間ほど浸かっていたジュースを飲んだ。その後、親も確認のために2口飲んだ。
4	タバコ (湯出液)	5月	大阪府	2名	27歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	缶コーヒーに2cm程度の葉が残った吸殻が入っていたのに気づかず飲んでしまった。味がおかしいと言うのもう1名が味見をしたところ、タバコが入っていることにすぐ気づいた。
5	タバコ (湯出液)	5月	埼玉県	2名	2歳代	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	下の子が飲んでいてジュースを上の子が飲んだところ、タバコの味がすると言った。近くにいる大人に確認したところ、ジュースはほとんど残っていないが、ジュースの中から吸殻1本が出てきたと言う。ジュースについて吸殻が入ったのかは不明である。
6	タバコ (湯出液)	6月	東京都	2名	71歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	ペットボトルに入れた麦茶にタバコの吸殻が入っていたものを、高齢者2名が半分ずつ飲んだ。
7	タバコ (湯出液)	8月	大阪府	2名	小児	医療機関	居住内(自宅)	不慮	なし	吸殻1本を野菜ジュースが少量残っていた空き缶に入れていたところ、母子2名が2口ずつ飲んだ。
8	保冷剤	2月	北海道	2名	0歳6か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	お弁当に入れる保冷剤の液体が床にこぼれており、それを子どもが飲み込んだ可能性がある。手や服には付いていない。
9	保冷剤	5月	大阪府	2名	88歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	保冷剤を、片栗粉の溶かしたものと間違えて、料理の中に入れて食べた。
10	保冷剤	8月	千葉県	4名	7歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	冷やす目的で直接、麦茶に保冷剤を入れ、その麦茶を家族4名で飲んだ。保冷剤の中が茶色になっていたので、保冷剤が麦茶の方に溶け出している可能性がある。
11	保冷剤 (冷却シート)	10月	山口県	3名	30歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	子どもに貼っていたはずの冷却シートがいつの間にか鍋の中に混入していた。溶けたり破けたりはしていない。

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱年(小児、高齢者)の患者年齢とした

表9-4-2 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) 一家庭用品その他一

事例No.	起因物質	発生月	都道府県	患者数	患者年齢*	通称者	発生場所	状況 (摂取理由)	受信時までの 症状	
12	殺虫剤 ゴキブリ駆除剤(フィプロニル)	9月	茨城県	8名	1歳6か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	
13	ピレスロイド含有殺虫剤	11月	東京都	4名	52歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	消化器違和感、嘔吐	
14	ホウ酸含有誘引殺虫剤	11月	高知県	4名	9歳	医療機関	不明	不慮	なし	
15	ホウ酸含有誘引殺虫剤	11月	神奈川県	3名	1歳1か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	
16	消臭剤	4月	兵庫県	3名	高齢者	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	
17	消臭剤	5月	大阪府	7名	2歳代	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	
18	消臭剤	10月	徳島県	2名	25歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	嘔吐	
19	電池	ポタン型電池	1月	長崎県	4名	2歳11か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし
20	アルカリ乾電池	8月	岩手県	3名	0歳11か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	
21	文具・美術工芸品	接着剤	11月	広島県	3名	成人	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし
22	油性マジック	11月	熊本県	2名	8歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

経緯

ご飯蓋の中にゴキブリ駆除剤を間違っ入れて炊いたが、炊いた後でゴキブリ駆除剤が入ったよう、気づかずにご飯を食べた。ゴキブリ駆除剤は、ほぼそのままの形で割れていた。

流しの下に殺虫剤を並べ、その上にお米の袋を乗せていたが、そのうち1本の殺虫剤の噴霧口がお米の紙やビニールの袋を突き破っており、袋の中で殺虫剤が噴霧され結んでいた。発見時には殺虫剤が空になっており、お米の下の部分がしっとりしていた。

子どもも名がやかんの湯でお茶を飲み、苦いと訴えた。やかにホウ酸回子が1個入っていた。どの程度溶けていたか、それぞれがどの程度摂取しているかは不明である。

子どもがいらずらしてキッチンに備え付けの魚焼き機の中にホウ酸回子を1個入れた。それを知らずに魚を焼き、食べた後に殺虫剤があることに気づいた。殺虫剤の量は減っていないようであった。

消臭スプレーの中身を計量カップに入れて他の容器に移し替えた。この事を知らずに、別の家人がこの計量カップをすすいだ後に酢を量り、すし飯を作って3名で食べた。

おまごとしていて、コップに消臭剤を混ぜつけ、そのコップに水を入れて飲んで遊んでいた。

約12リットルの水のタンクに消臭剤を誤って投入した。その水を2名がコップ1杯飲んだ。1名は直後に嘔吐した。

ポタン型電池が体感器に入っていたことに気づかず、ご飯を炊いてカレーをかけて食べた。翌日、炊飯器の中に変形したポタン電池が入っていることに気づいた。

乾電池がやかんに入っているのに気づかず、その中のお茶を飲んだ。

鍋のフタ部分が取れた際、木工用接着剤で付けた。調理の際、接着部分が溶けて、料理に入った可能性がある。味はおかしいと思いがら食べた。

遊びでコマージュヤルをまねてお菓子にマジックで名前を書いて食べた。子どもの舌が黒くなっている。

表9-4-3 家庭用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上) 一家庭用品その他一

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢	連絡者	発症場所	状況(採取理由)	受診時までの症状	経緯
23	エッセンス油 (アロマオイル)	3月	滋賀県	2名	56歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽頭痛、 食欲不振	便秘薬と間違えてアロマオイルを7滴コップに入れ、そこに水200mlを加えたものを全部飲んだ。その後、もう1名が同じコップを使い、底に少量溜まっていたアロマオイル希釈液に気づかず、水を足して少し飲んだ。
24	体温計	6月	愛知県	4名	6歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	水銀体温計を割り、拾った水銀をガラスのビンに入れておいた。そのビンで、ドレッシングを作り食べた。
25	化粧品 毛髪用化粧品 (リンス)	8月	兵庫県	4名	35歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	炊いたご飯を家族4名で前日と本日、3回に分けて食べた。食べた後、炊飯釜を洗浄した際に、釜の外側の底に試供品の薬用リンスが集まって張り付いているのを発見した。リンスの袋の中身は全てなくなっており、おそらく蒸発したと思われる。
26	防虫剤	8月	東京都	4名	3歳	一般市民	居住内(その他)	不慮	なし	子どもが友人宅で防虫剤と共に炊いたご飯を出されて食べた。
27	肥料	8月	東京都	3名	43歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	ペットボトルに希釈した切り花鮮度保持剤を入れていた。その液を捨て、すすがずそのまま茶を入れて家族3名が飲んだ。
28	その他の 家庭用品	2月	東京都	3名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	肉の下に敷いてある袋からゼリー状のものが出ており、少し肉に付いていた。それをゼラチンと思い、肉と一緒に煮込んで食べた。
29	フローリング 用掃除シート	4月	東京都	4名	90歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	下痢	フローリングのシートをキッチンペーパーと一緒に間違えて、魚に巻きつけ、その魚を焼いて食べた。
30	緑青	5月	茨城県	3名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	緑青の入ったシチューを食べた。シチューは前日に作ったもので、鍋はステンレス製であるが、取っ手の部分に銅が使われていて、その周りのシチューが緑色になっていた。
31	緑青(可能性)	6月	大阪府	2名	小児	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	ケチャップとマヨネーズを混ぜた中にスプーンを1晩放置していた。その混ぜた物を野菜にかけて食べたところ、味が苦かったのでスプーンを見たら緑色のものが付いていた。
32	浄水剤	10月	東京都	2名	56歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔粘膜びらん	浄水剤1袋を水に溶かして、食品にかけて食べた。

* 患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱等(小児、高齢者)の患者年齢とした

表10 工業用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上)

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢・連絡者	発生場所	状況(採取理由)	受診時までの症状	経緯
1	灯油	1月	兵庫県	2名	39歳 一般市民	屋外	不慮	口腔咽喉違和感	ガソリンスタンドで灯油を入れた際に母親の手に灯油がかかったが、その事を忘れて、その後に行った公園で手を洗わずに子どもと一緒ににおにぎりを食べた。
2	灯油	1月	青森県	4名	31歳 一般市民	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	悪心、嘔吐	食堂で豚汁を食べたところ、ゴボウから灯油のような臭いがした。灯油のしみ込んだゴボウが使われた可能性がある。
3	灯油	12月	栃木県	3名	40歳 一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心、嘔吐	灯油の付いた可能性のあるジャガイモを食べた。ジャガイモの入っていたビニール袋に灯油がついていた。
4	灯油	12月	東京都	2名	45歳 一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	せんべいを1口食べたところ、灯油の味がした。購入した店にそのせんべいを待たせ、店員が食べたところ、灯油の味がすると、店員が本当に灯油であるかは不明である。
5	灯油	12月	埼玉県	3名	8歳 一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	ジャガイモを調理して食べていたら、灯油臭いものがあった。灯油缶のそばにジャガイモを保管しており、灯油がしみ込んだ可能性がある。
6	金属潤滑剤	1月	埼玉県	2名	2歳8か月 医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	店屋物のラメンを子どもが10口程度食べた。親を母親が食べたところ、シンナー臭がして舌に違和感を感じたため、店に問い合わせたところ、店舗中に金属潤滑剤が混入した可能性があるというので、医療機関へ電話相談をしてきた。
7	防かじ剤	2月	大阪府	2名	11歳 一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	レモンの皮をすりおろして入れたチーズケーキを作り、2名で少量食べた。苦味があったので、レモンが古いせいなのか、皮に付着している防かじ剤も考えられるので心配である。
8	ホウウ砂	3月	愛媛県	3名	14歳 医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感(1名)、肝機能異常(1名)	中学3年生の男子3名が、実験で使用したホウウ砂を砂糖か塩と同量運んで、食べ物をに入れて食べた。
9	水酸化ナトリウム、塩酸	7月	石川県	35名	10歳代 医療機関	学校	不慮	口腔咽喉痛み、腹痛	中学1年生と3年生のクラスで理科の実験をし、実験に使用したミカンを食べた生徒に症状が出たので医療機関を受診した。実験はミカン1房を塩酸に漬け、その後、水酸化ナトリウムに漬けてから洗浄し、フェノールフタレイで中性に戻したことを確認して食べるという内容であった。前日に2年生が同じ実験を行った際には症状が出た生徒はいなかった。1年生は16名中7名、3年生は15名中2名に症状が出ており、そのうち8名が受診している。
10	ドライアイス	7月	奈良県	1クラス(可能性)	9歳 一般市民	学校	不慮	なし	授業中、ジュースの中にドライアイスを入れて機を出す実験を行った。その後、実験に使用したジュースを飲んだ。
11	トルエン	8月	新潟県	10名程度	不明 一般市民	仕事場	不慮	なし	1か月程前に職場の水道水の臭いがするため、検査をしたところ、トルエンが混入していたことが判明した。混入した時期や原因は不明である。職場の10名程度が飲んでいる。
12	工業用洗浄剤	11月	栃木県	2名	25歳 医療機関	屋内の公共スペース(店舗)	不慮	悪心	ミルクライ用の工業用洗浄剤の希釈液が入ったポットの液体を、店員が紅茶の注ぎ口の横に置いたところ、密2名が飲んだ。ポットには洗浄剤の原液20ml、を800mlに希釈したものを入っていた。
13	不凍液	11月	奈良県	2名	85歳 医療機関	居住内(自宅)	不慮	下痢、尿の白濁	暖房器具の不凍液を使用しているが、業者の不備で温水暖房の回路が開いており、飲料水に不凍液が約20%の濃度で混入していた。それを知らずに甘いと感じながら、飲料水を7日間、家族2名で飲んでいった。
14	ポリプロピレン製の袋	12月	神奈川県	2名	3歳 一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	炊飯器の内釜の下にポリプロピレン製の袋が付着したまま炊いたご飯でカレーを食べた。袋が溶けて炭化している。臭いがしたが、袋が溶けたことが原因とは気づかなかった。今も炊飯器の周辺は臭いがする。

* 患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

表11 農業用品が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上)

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況(採取理由)	受信時までの症状	経緯
1	有機リン系殺虫剤(アゼフェート)	6月	埼玉県	3名	52歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	殺虫剤を散布して2日目のニラを使ってギョウザを作り、家族3名で食べた。
2	有機リン系殺虫剤(アゼフェート)	10月	高知県	4名	38歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	前日に農薬を散布した野菜であることを知らずに、本日、野菜を畑から取ってきて洗い、サラダにして家族4名で食べた。
3	カーバメート系殺虫剤(メソミル)	5月	神奈川県	約30名	小児	一般市民	幼稚園	不慮	なし	幼稚園で殺虫剤を1500倍希釈してプロットコリーに散布した。散布して1週間後、園児30名が食べた。散布した殺虫剤には2週間経過後に食べると書いてあったと思うので、心配である。
4	カーバメート系殺虫剤(メソミル)	7月	岐阜県	5名	7歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	2日前に農薬を散布した野菜を本日食べた。希釈の倍率は不明だが、使用濃度(1000倍)より濃い可能性がある。野菜は洗ってキウウリは生で、ササゲは煮て食べた。
5	カーバメート系殺虫剤(ペンフレカルブ)	7月	秋田県	2名	38歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感(1名)	庭のトラックにおいてあった農薬を触った手で、母子2名がパンを食った。
6	除草剤(グリホサート)	7月	香川県	2名	69歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	悪心、しびれ	除草剤を散布した直後、近くに生えている赤シソをつんで湯を作った。翌日、蒸気を食べたところ、症状が発現したため受診した。2名で食べたが、症状が発現したのは1名のみである。
7	除草剤(グルホシネート)	3月	静岡県	3名	83歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	除草剤を散布した後、除草剤が付着したヨモギを採って洗い、天ぷらにして少量食べた。
8	除草剤(グルホシネート)	5月	茨城県	2名	37歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	頭痛(1名)	隣の農家が散布した除草剤が、自宅敷地内に堆積していたサニーレタスにかり、これを気づかずに食べた。サニーレタスは水洗いして食べたが症状が発現したので原因を探していたところ、隣の農家が除草剤を散布していたことが判明した。
9	除草剤(ベンディメタリン)	12月	福岡県	2名	52歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	なし	2日前に除草剤を散布したジャガイモを、翌日、誤って食べた。ジャガイモは水洗いし、皮をむいて、加熱調理したものである。
10	殺菌剤(ベンミル)	5月	北海道	2名	3歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	なし	殺菌剤を散布したミツバをハンバーグにして食べた。本菜は散布してから1週間経過後に食べるものであるが、散布3日後に食べた。
11	不明の農薬	9月	宮城県	2名	69歳	医療機関	居住内(自宅)	故意	徐脈、傾眠	農薬が混入された牛乳を、家族2名が飲まれた。1名はコップ一杯飲み、ざらっとした舌触りがあったという。もう1名は口に入れた瞬間に酸っぱい味がすることに気づいて、飲まずに吐き出した。牛乳に混入した農薬は、有機リン系殺虫剤(アゼフェート)、除草剤(グリホサート)、殺菌剤(メタノール含有)のいずれかの可能性がある。混入させた本人は除草剤(グリホサート)を飲んで自殺を図り、他院に搬送された。

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱年齢(小児、高齢者)の患者年齢とした

表12 医薬品(医療用、一般用)が食品へ混入した受信事例の詳細(2007年、患者2名以上)

事例 No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受信時までの症状	経緯
1	ホウ酸	1月	千葉県	2名	9歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	重曹と間違えて眼科用のホウ酸を最大3g入れたアセロラジュースを子ども2名が飲んだ。
2	ホウ酸	2月	島根県	2名	不明	医療機関	不明	不明	口腔咽喉痛み	中学生が眼科用のホウ酸(4.5g)を牛乳に溶かして飲んでしまった。故意に飲んだ訳ではないようであるが、受診途中のため詳細は不明である。
3	ホウ酸	7月	千葉県	3名	15歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	炊飯時に健康食品と誤ってホウ酸をスプーン1杯、炊飯器に加えてご飯を合炊いた。気づかず家族3名がそのご飯を1合ずつ食べ、母親が帰宅して確認に気づいた。ホウ酸は洗眼用で冷蔵庫に入れて保管していた。
4	ホウ酸	12月	神奈川県	2名	65歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	煮豆を調理する際に重曹と間違えてホウ酸を入れた。2名が時間を置いて少量ずつ食べた。
5	貼付剤(インドメタシン含有)	7月	兵庫県	2名	1歳8か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	やかんの中に2cm角程度の貼付剤が入っていることに気づかず、中のお茶を飲んだ。
6	哺乳びん用殺菌消毒剤(次亜塩素酸塩含有)	10月	埼玉県	2名	5歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	水で希釈した哺乳びん用殺菌消毒剤をペットボトルに入れておいたことを忘れて子ども2名に飲ませた。症状があるのは1名である。

*患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱等や同等の場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした

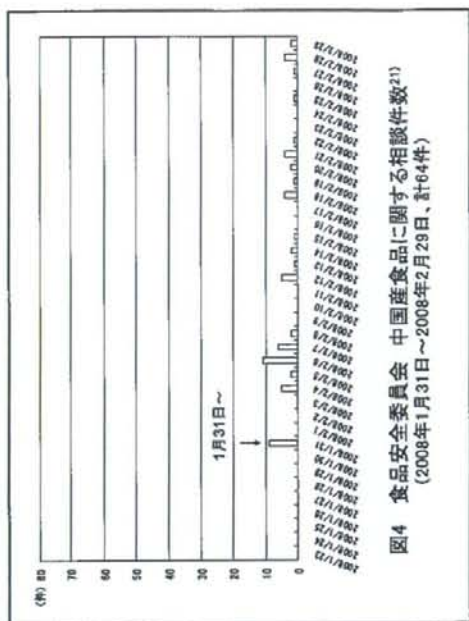
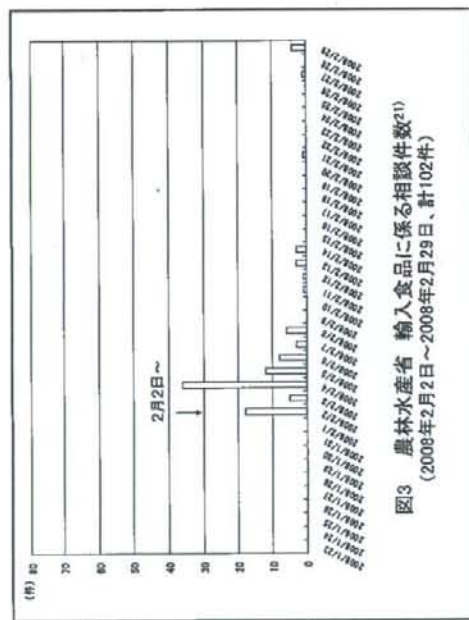
表13 JPIC 食品と形状類似、誤認等により発生した急性中毒受信件数(2003~2007年、患者2名以上)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	計
家庭用品	8	6	8	6	16	44
おもちゃ	1	0	1	2	6	10
化粧品	1	0	2	1	0	4
殺虫剤	1	0	0	0	1	2
肥料	1	0	1	0	1	3
文具・美術工芸品	1	0	0	0	0	1
ペット用品	1	2	0	2	3	8
芳香剤、消臭脱臭剤	1	0	0	0	0	1
洗剤・洗淨剤	0	3	3	1	1	8
保冷剤	0	0	1	0	1	2
その他の家庭用品	1	1	0	0	3	5
工業用品	1	2	1	1	0	5
医薬品(医療用、一般用)	0	0	2	1	0	3
農業用品	1	0	1	0	0	2
計	10	8	12	8	16	54

表14 食品と形状類似、誤認等により発生した中毒事故受信事例の詳細(2007年、患者2名以上)

事例No.	起因物質	発生日	都道府県	患者数	患者年齢*	連絡者	発生場所	状況 (採取理由)	受悟時までの 症状	経緯
1	おもちゃ	5月	神奈川県	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	おもちゃで作ったソフトクリームを子ども2名で食べた。2日にかけて2回食べべた。量は1回作った分を2名で分けて食べたので、それぞれ1回分ずつの量を食べている。
2	おもちゃ	5月	栃木県	2名	4歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	腹痛	ドーナツを作るおもちゃで、作ったドーナツを子ども2名が食べた。母親も食べられると勘違いをして、子どもにも食べさせてしまった。
3	おもちゃ	11月	奈良県	2名	不明	一般市民	居住内(自宅)	不慮	悪心	ドーナツを作るおもちゃで、作ったドーナツを間違えて2名で食べた。
4	おもちゃ	12月	大阪府	2名	2歳2か月	医療機関	居住内(自宅)	不慮	なし	子ども2名がおもちゃで作ったドーナツを食べた。
5	ペット用品	8月	長野県	2名	7歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	なし	子ども2名がカプトムシ用のゼリーを食べた。上の子は3個、下の子は1個食べた。
6	ペット用品	11月	奈良県	2名	1歳5か月	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	子ども2名がクワガタ用のゼリーを食べたと思われる。掃除中に容器が落ちていたことに気づいた。
7	ペット用品	12月	茨城県	2名	3歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	子ども2名がカプトムシ用のゼリーを10個ずつ食べた。
8	保冷剤	1月	神奈川県	2名	71歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	京都のお菓子の入っていたゼリーのような飲料を食べた。
9	ろうそく	12月	神奈川県	3名	54歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	流涎	デパートでろうそくをキャンディーと思い、購入して食べた。無味であったため購入先に確認したところ、ろうそくであることが判明した。
10	スライム(ホウ砂含有)	10月	埼玉県	3名	6歳	その他 (児童施設)	居住内(自宅)	不慮	なし	児童施設で配布された手作りスライムを子どもが持ち帰り、自宅で祖母と子ども2名の計3名が食べた。大部分は子ども2名で食べた。
11	ホウ酸団子(自家製)	7月	千葉県	数名	12歳	医療機関	学校	不慮	腹痛(1名)	授業で作ったホウ酸団子を、お菓子の間違って、数名で食べた。小指の先端程度食べた1名のみが、腹痛を訴えた。
12	化学発光液	11月	山形県	5~6名	成人	医療機関	屋内の公共スペース	不慮	悪心	結婚式場でお酒に酔った成人5~6名が、お酒と誤って机の上に置いてあった化学発光液を摂取し、医療機関を受診した。
13	木酢液	8月	茨城県	2名	68歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉違和感	高齢者がウーロン茶と間違えて木酢液を飲んだ。
14	住居用洗剤	3月	栃木県	2名	3歳	医療機関	居住内(自宅)	不慮	口腔咽喉痛み	ペットボトルに小分けして入っていた壁を洗う洗剤を、子ども2名が口に入れて吐き出した。飲み込んではいない。
15	切り花鮮度保持剤	10月	愛知県	2名	5歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	切り花鮮度保持剤10mlを50倍希釈して500mlのペットボトルに入れていた。子ども2名が水が入っていたペットボトルだったため、水と間違えて子どもが100mlほど、母親が1口飲んだ。
16	パラフィン	2月	神奈川県	3名	80歳	一般市民	居住内(自宅)	不慮	なし	皮の硬いチーズと思ったが、口に入れると柔らかくなったので食べられるものと思い食べた。後でチーズを包んでいたビニールに「パラフィンを取り除いて食べてください」と書かれていることに気づいた。

* 患者年齢は症状がある場合は症状が最も重い患者、症状がない場合は弱者(小児、高齢者)の患者年齢とした



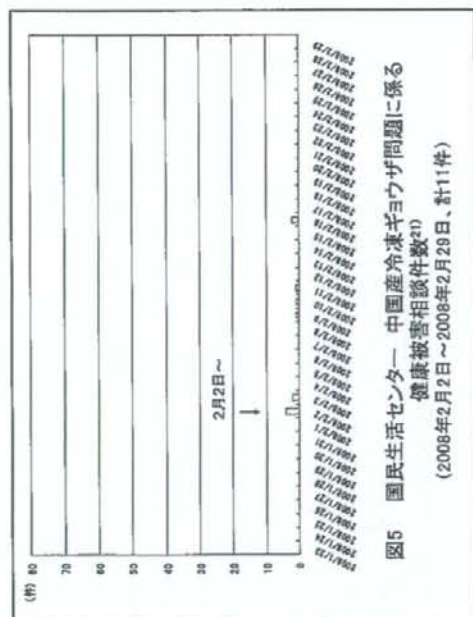


図5 国民生活センター 中国産冷凍ギョウザ問題に係る健康被害相談件数⁽¹⁾
(2008年2月2日~2008年2月29日、計11件)

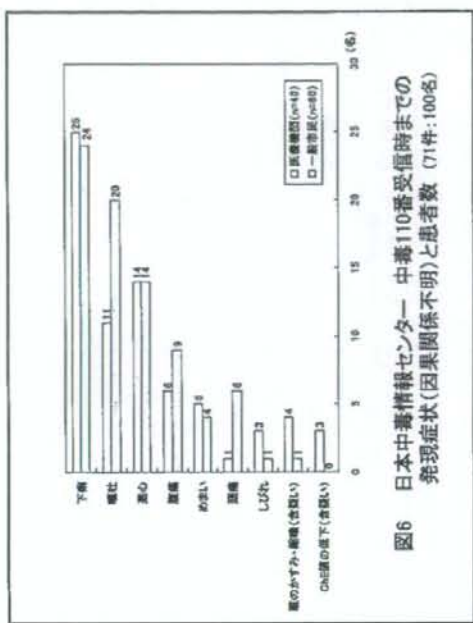


図6 日本中毒情報センター 中毒110番受信開始までの発現症状(因果関係不明)と患者数 (71件:100名)

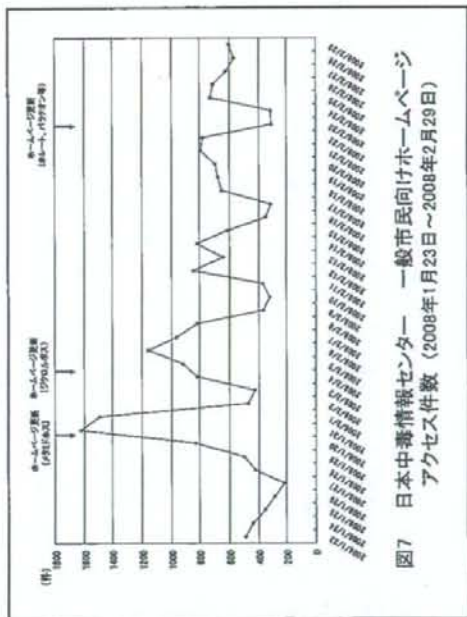


図7 日本中毒情報センター 一般市民向けホームページ アクセス件数 (2008年1月23日~2008年2月29日)

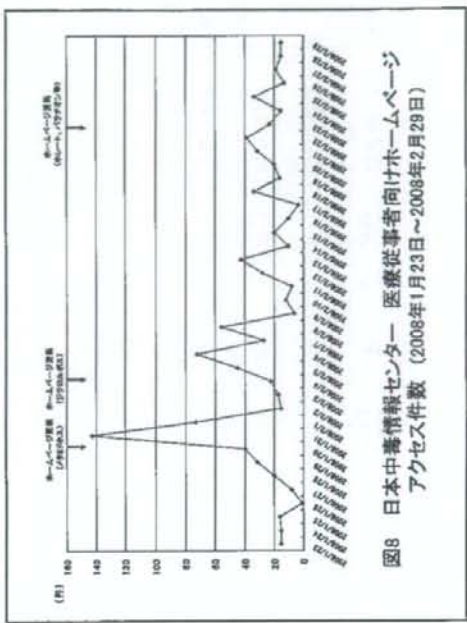


図8 日本中毒情報センター 医療従事者向けホームページ アクセス件数 (2008年1月23日~2008年2月29日)